連盟ほっと情報

春季全国大会の準備OK

被災地励ます横断幕発注

注目の組み合わせ抽選会も終わり（12面参照）、いよいよ第42回春季全国大会が3月25日から東京・大田スタジアムをメーン会場に開始される。それに備えてこのほど同大会のポスター（写真参照）が完成し、このポスターを表紙にしたパンフレットも間もなく出来上がる。

ポスターは大田スタジアムをバックに力強いバッティングの写真や豪快なスライディングをあしらった迫力たっぷりのもの。昨年の第41回春季全国大会は、あの"3・11大震災"で残念ながら中止された。それだけに関東ブロックの意気込みは大変なもので、関副会長（関東ブロック長）も「昨年の大会を取り返すつもりで頑張って、素晴らしい大会にしたい」と気合を入れている。

大会用ポスターも完成

第42回
日本少年野球春季全国大会
3月25日(日)〜28日(水)

また藤田会長の「大震災からちょうど1年。もう一度、被災地をみんなの力で励ましてあげたい」という発案で、各球場に「被災地復興支援元年 "支える輪" さらに広げよう!! 日本少年野球連盟 ボーイズリーグ」と書かれた横断幕を20張り作成することが決定。すでに業者に発注済みだ。

豊島常務理事（企画運営部長）も「昨年の夏の選手権大会では"被災地へ勇気と感動を届けよう"という横断幕を作った。今回のものはその第2弾。横断幕が少しでも復興支援につながればうれしい」と話していた。

さあ、3月25日（日）から4日間の日程で開催される春季全国大会。午前8時30分からの開会式に続き、各球場に分かれてプレーボールとなるが、中学生の部43、小学生の部22チームがどんな激戦を展開するのか楽しみだ。

連盟事務所で行われた2月のブロック長会で藤田会長（左から3人目）を中心に春季全国大会、公益財団法人の申請などが検討された【下】全国大会で各球場に掲げる横断幕

被災地復興支援元年

"支える輪" さらに広げよう!!

(財)日本少年野球連盟 ボーイズリーグ

連盟の重要伝達事項はこのページ（11面）に掲載しています

公益財団取得を目指しさらなる努力で実現へ

第2回ブロック長会が2月17日、連盟事務局で行われ、公益財団法人の申請へ向けてさらに急ピッチで準備を進めることが確認された。

いま、連日のように連盟事務局では顧問弁護士の力も借りながら「新定款」あるいは「新定款の細則」作成に力を注いでいるが、いよいよ3月4日（日）に公益財団を取得した後の最初の評議員を選ぶ"選定委員会"を開催。続いて3月24日（土）、東京で行われる第2回理事会で新定款、新細則の承認を受けた後、4月15日（日）に全評議員を招集。臨時評議員会を開くことになった。

最初の評議員選定委員会のメンバーは文部科学省通達で、外部委員2名、評議員1名、監事1名、連盟事務局員1名と決まっており、別掲の5人によって、公益法人設立後の新評議員20名（現在の77名の評議員は解散）が決定される。

いま、全国の財団法人、社団法人などから内閣府への申請が殺到しており、スムーズに予約がとれても公益法人の実現までに相当な時間がかかることが確認されている。

今年中か来年初めになるか―。ステータスの高い、税制面でも優遇される公益財団法人の取得へ向かって、そのハードルを越えるためのさらなる努力が必要だ。

◇評議員選定メンバー

▽福島敦彦氏（日本野球連盟参与）▽岡本伊三美氏（連盟顧問）▽加藤房吉氏（監事）▽高田修氏（評議員）▽石丸勉氏（連盟事務局）

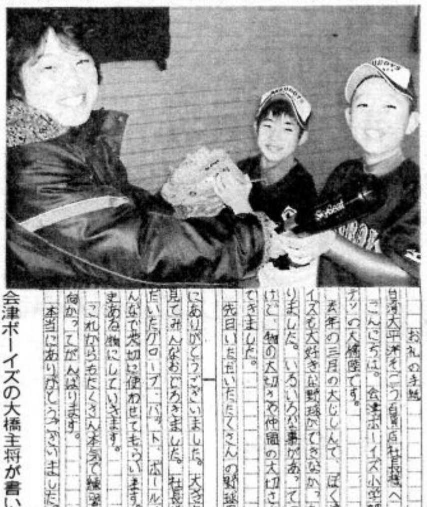
会津小学部に台湾から愛!! 野球道具届けられる

東日本大震災から、間もなく1年。東北支部の会津ボーイズ小学部に、台湾から救いの手が差し伸べられた。台湾太平洋そごうからグラブ20個、キャッチャーミット2個、ファーストミット2個、金属バット2本、木製のトレーニングバット2本、日本少年野球連盟公式球3ダースが関係各所を通じて、1月21日に贈られた。

「小学生を助けてあげてほしい」という台湾太平洋そごうの意向を受け、震災発生当時は東北支部に小学部が1チームしかなかったことから、会津ボーイズに届けられた。陽田代表は「日本少年野球連盟の器の大きさを感じた。協力団体、関係者の気持ちが伝わって、台湾からご支援いただいた」と厚意に感謝した。

チームの活動拠点は福島県の中でも新潟県寄りにあるため、地震と津波による被害は大きくなかった。ただ、昨年の4月中旬まで練習ができず、関東ボーイズリーグ大会への出場は自粛。6月の選手権大会支部予選から、ようやく試合に参加することができた。「日本少年野球連盟の方や、ほかの地域の方からも応援をいただいて、それがモチベーションになった」。多大な支援によって、選手が野球を続けられていることを陽田代表は強調した。

今もなお、放射能の風評被害に悩まされているが、贈られた野球道具で日々練習に励んでいる。「感謝できる子供たちを育てていくことが恩返しの一つになる。それが使命だと思っています」。道具を手に、笑みを浮かべる選手を見つめながら、陽田代表は誓った。海をまたいだ復興への願いは、少年たちの胸に刻まれたはずだ。



おれいの手紙

台湾太平洋そごう百貨店社長様へ

こんにちは。会津ボーイズ小学部新キャプテンの大橋陸です。

去年の三月の大じしんで、ぼく達会津ボーイズも大好きな野球ができなかった時期がありました。いろいろな事があってつらかったけど、物の大切さや仲間の大切さを学ぶ事ができました。

先日いただいたたくさんの野球用具、本当にありがとうございました。大きな箱の中を見てみんなおどろきました。社長様からいただいたグローブ、バット、ボール、チームみんなで大切に使わせてもらいます。そして[illegible]ある物にしていきます。これからもたくさん本気で練習して、夢に向かってがんばります。

本当にありがとうございました。

会津ボーイズの大橋主将が書いた「おれいの手紙」【上】選手にバットとグラブを手渡す会津ボーイズの陽田代表㊧

台湾太平洋そごうから贈られたグラブを手に笑顔を見せる会津ボーイズの選手たち

新チーム加盟

◇中学生の部【名古屋名東ボーイズ】（愛知県西支部）▽代表 安藤正敏（☎052・701・1885）▽監督 梅村仁司（☎052・705・4201）

【横浜山手ボーイズ】（神奈川県支部）▽代表 佐々木明男（☎045・391・6110）▽監督 今井寿七郎（☎045・453・8652）

【つくば学園ボーイズ】（茨城県支部）▽代表 小島幸司（☎029・865・1337）▽監督 山田征紀（☎029・847・5236）

【上三川（かみのかわ）ボーイズ】（栃木県支部）▽代表 小倉悦男（☎0285・83・1327）▽監督 井上直人（☎028・908・4574）

【山形東南ボーイズ】（東北支部）▽代表 永澤正一（☎023・673・2014）▽監督 金子信之（☎023・676・2577）

【南会津ボーイズ】（東北支部）▽代表 星英光（☎0241・62・3910）▽監督 湯田貴明（☎080・1830・0154）

◇小学生の部【千葉中央ボーイズ】（千葉県支部）▽代表 舟越裕子（☎043・243・5161）▽監督 坂本弘章（☎043・208・0268）

◇2月連盟の動き

4～5日 合同審判講習会（兵庫・鳴尾浜）
10日 5ブロック審判長会議（連盟事務局）
11～12日 全国審判講習会（舞洲球場）
15日 総務部会（連盟事務局）
16日 国際部会（連盟事務局）
17日 全国ブロック長会（連盟事務局）
19日 第42回春季全国大会抽選会（東京・新宿、青年館ホテル）

2012世界少年野球大会

豪州から招待状届く

「2012世界少年野球大会」はオーストラリア・ニューサウスウエールズ州のセントラルコーストで開催されることが決定しているが、2月17日のブロック長会で、すでに招待状が届いていることが報告された。

大会が行われるのはセントラルコーストの中心地ゴスフォードで、シドニーから車か列車で約70㌔。時間にして約70分のところ。スケジュールは8月7日出発、同14日に帰国予定で、大会期間は9日から13日。参加国数によって日程に多少の変動があるとの連絡が来ている。

今年の選手数は18人の予定で、役員は中・四国ブロックから選出されることが確認されている。春季全国大会が終了後から各ブロックで選手の人選を行い、5～6月をめどに完了。合宿日程などが決定される。